

# 小学生からの金融教育への挑戦

—年間カリキュラムに組み込む実践法—

## 金融教育の現場レポート

「金融教育」は、社会の中で生きる力を育むことを目的として行われる教育です。このコーナーでは、金融教育の授業がどのように進められているか、教育現場に立つ先生や、授業を受ける生徒の姿をレポートします。今回は、佐賀県唐津市立大良小学校の高橋幸信教頭による、通常授業の中に「金融教育の視点」を取り入れ実践していった金融教育の取り組みについてご紹介します。

### 全教員をあげて「金融教育」とは何か？」からのスタート

「どうして金融教育なんですか？校内研究には国語科が必要ですよ！」

地元教育委員会から金融教育研究校委嘱の決定を受けた時、高橋幸信先生の前任校、玄海町立仮屋小学校の職員室では、賛成よりむしろ反対し、動揺する先生の方が多かったそうです。ただ、教頭の高橋先生だけは、「国語の研究はいつでもできる。」一事が万事（一事を見れば、他のすべてのことを推察できる）ですよ。年間指導計画の中で取り入れれば、金融教育の趣旨は算数や国語、あらゆる教科にも通じるだろうし、子ども

や地域の実態に沿った教材を作ることで、授業での焦点の当て方といった教育手法の研究なども、どの教科にも役立つはずですよ」と熱弁をふるい、皆を説得しました。

具体的な取り組みについては、まず、佐賀県金融広報委員会を通じて、講師として金融広報アドバイザーの派遣制度（無料）を活用。先生方は講師から「金融教育とは何か？」ど

のような授業が考えられるか」といった理論を学び、児童には実態調査のためのアンケートを実施しました。さらに、あらかじめ保護者の理解を得るために、金融広報アドバイザーが先生と保護者向けに、「お金のしつけと子どもの自立（今なぜ小学生に金融教育が必要か）」と題して講演会も行いました。

### 6学年すべての年間カリキュラムに金融教育を実践

アンケートによる児童の実態調査で浮かびあがってきたのが、

「物やお金の大切さについて十分考えているとは言えない」

「見通しを立て、計画的に大切に小遣いを使う経験が不足している」という点でした。

「子どもたちには、親が苦勞して手に入れたお金という意識が乏しく、



佐賀県  
唐津市立大良小学校  
高橋幸信教頭

【表1】研究の重点

<p>&lt;1年次の研究の重点&gt;</p> <p>・研究目標① 「勤労の尊さに気づき、進んで働こうとする気持ちや態度を育てる。」(勤労の尊さ) カリキュラム：生活科や総合的な学習の時間を中心にして</p> <p>&lt;2年次の研究の重点&gt;</p> <p>・研究目標① 「物やお金の大切さを知り、大切に扱おうとする心情を育てる。」(健全な金銭感覚)</p> <p>・研究目標② 「身近な生活を見通し、自分にできることを進んで実現しようとする態度を育てる。」(学んだことを生かす) カリキュラム：各教科、道徳、学級活動、総合的な学習の時間の中で</p>	
---	--

【表2】金融教育に関する年間カリキュラム(5年)

月	教科	学級活動	道徳	総合的な学習の時間	
				18年度	19年度
4	○わたしたちの生活と食料生産(社会)【～7月】 ・社会の仕組みと物やお金の関係の理解。 ○できる仕事をふやそう(家庭) ・家庭の中での自分の役割について考えさせる。	○係活動と当番活動 ○掃除のしかた ・学級や学校の一員として進んで働く態度を育てる。			
5		○高学年としての役割 ・高学年の自覚をもち、進んで働こうとする態度を育てる。	○まごころのボランティア活動 ・学研4ー(4)勤労・社会奉仕・公共心		○地域のごみ拾い活動 ・勤労の尊さに気づき、地域の一員として進んで働く態度を育てる。
6				○地域のごみ拾い活動	○花の栽培【～3月】 ・花を栽培し、地域や卒業生のために役立とうとする気持ちを育てる。
7	○くふうして仕事を続けよう(家庭) ・家庭の中で仕事を続けようとする態度を育てる。				○地域のごみ拾い活動 ○栽培した花を町に置く
8					○花の世話
9	○わたしたちの生活と工業生産(社会)【～11月】 ・社会の仕組みと物やお金の関係の理解。			○地域のごみ拾い活動 ○リサイクル活動	○地域のごみ拾い活動 ○花の世話
10	○くふうしよう!かしこい生活(家庭)【～11月】 ・身の回りの整理整頓、不用品の活用の仕方、計画的な物の使い方や買い方を理解し、実践する態度を育てる。 ○マザー・テレサ(国語) ・命や物を大切にすることを育てる。お金の有効な使い方を考えさせる。		○私たちのお金 ～100円のできる～ ・お金の価値を知り、お金を大切にしようとする態度を育てる。		○地域のごみ拾い活動 ○花の世話
11	○わたしたちの生活と情報(社会)【～12月】 ・情報の質を見分けながら、自分の生活(買物の仕方)への生かし方を考えさせる。	○白い羽根募金 ・募金の意義と仕組みを知り、自分にできることから始めようとする態度を育てる。	○私たちのお金 ～100万円あったらどうする～ ・お金の価値や悪徳商法などについて理解し、お金を大切にしようとする態度を育てる。	○地域のごみ拾い活動 ○リサイクル活動	○地域のごみ拾い活動 ○花の世話 ○産業文化祭での活動発表 ・自分たちの活動について発表し、成果やお願いを町の人に知ってもらう。
12		○お年玉の使い方を考えよう ・お金を大切に、計画的に遣うことができる。			○地域のごみ拾い活動 ○花の世話
1			○小さな手から ・学研4ー(4)勤労・社会奉仕・公共心	○地域のごみ拾い活動 ○リサイクル活動	○地域のごみ拾い活動 ○花の世話
2					○地域のごみ拾い活動 ○花の世話
3		○もうすぐ6年生 最高学年になる自覚と、進んで働こうとする意欲をもたせる。			○活動の振り返り

金融教育の大切さを  
実感しました。大人  
社会ではお金の借り  
過ぎや自己破産、保  
証人トラブルなど多くの金銭問題が

証人トラブルなど多くの金銭問題が  
取りざたされるなか、小学生のうち  
からお金に対する意識を根付かせ  
る必要性は大きいと思いました」と

高橋先生。  
そこで同校では、2カ年計画の中  
で、【表1】のような「研究の重点」を  
設定。各学年のカリキュラム作りに  
取り組みました。  
課題は、学習指導要領に定められ



たカリキュラムをこなしつつ、金融教育を上手に組み込むことでしたが、高橋先生は、「今あるカリキュラムを、金融教育の視点で見直せばいいのではないか？」と先生方に提案。例えば「表2」のような5年生のカリキュラム例では、社会、家庭、国語、学級活動、道徳、総合的な学習の時間など、各科に配置することが可能でした。

社会では「わたしたちの生活と食料生産」の単元を通じて、社会の仕組みと物やお金の関係を理解する。

家庭では「できる仕事をふやそう」の単元で、家庭の中の自分の役割、その役割(仕事)を続けようとする態度を育てる。

国語は「マザーテレサ」の単元を、命や物を大切にすることを育て、お金の有効な使い方を考えさせる授業へと発展させています。

### 「おこづかいゲーム」「バザー」で育んだ、お金の使い方・大切さ

また、アンケート調査では子どもたちに「お金に対する感謝の気持ちがない」「物を大切にしない」「忍耐力がない」という課題が浮き彫りになっていました。

そこで5年生は、「お金を計画的に使うことの大切さを理解する」「目

的にあった品物の選び方や買い方ができる」ことを目標に、家庭科の指導計画18時間のうち、8時間は「おこづかいゲーム」と称したプログラムを実施しました。

具体的には月1500円のお小遣いをどう使うか、家庭の協力を得て、子どもたち一人ひとりが「おこづかい帳」を記録しました。結果、「浪費型」(すぐに使ってしまう)、「目的型」(使用目的を決めて貯金する)、「堅実型」(計画的にコツコツ使う)など各自のタイプも判明。子どもたちは級友との違いを楽しみながら、「むだづかいをしない」「欲しいと思ってもすぐには買わず、お金が貯まったり安く買ったりしたら買う」「先のこと考えて使う」など、上手なお金の使い方について意識を新たにしていきました。

実践教育では、他学年も金額を変えて「おこづかい帳」に挑戦をしたり、低学年は育てたさつまいもでお菓子を作ってバザーで売ったり、中学年は鯛の養殖場の見学・インタビュなどを通じて、働く人の苦労や工夫、「勤労の尊さ」を学習。保護者からも子どもたちが生き生き活動する姿や、物やお金に対する姿勢の変化が報告され、金融教育の手応えを誰もが実感していきました。

### 背景にあった、「問われる教師の力量」への挑戦

高橋先生は研究校の委嘱が決まった時から、「研究成果を上げるには、教師にとつても子どもたちにとつても意識に長く根付いていくことが大切。このため、ある一部を対象にした、打ち上げ花火(イベント)的な行事にしない金融教育が重要」との思いを強くしていました。

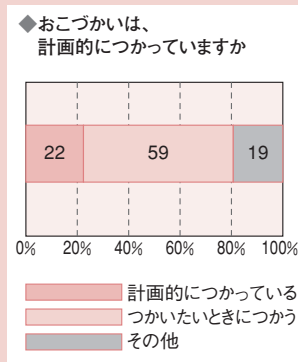
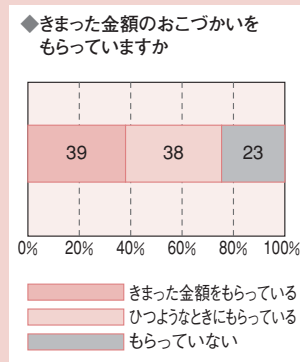
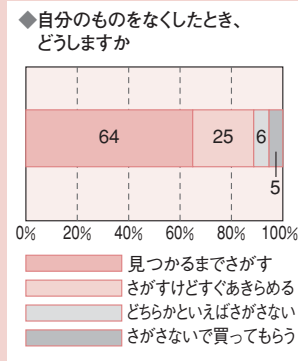
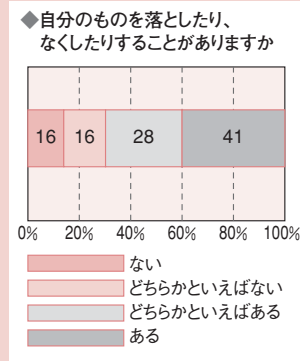
そのために通常授業で継続的に行うことにこだわり、「最も大きな





「実は近年、多くの先生は既にあの指導マニュアルを参考にして授業を行うことに慣れ、『ふだんの授業に取り入れるにはどうしたらいいのか？（マニュアルの作成）』『どういう視点を持つべきなのか？（焦点化）』という試行錯誤からスタートする機会は減多にありません。だから、私はそれが先生方にとっても大きなチャンスだと思いました。今回こうして、指導マニュアルのない授業を先生たちが

【表3】アンケート集計結果



ゼロから作り上げていった意義、私たちが今後、小学校における金融教育のモデルケースにもなり得る意義は、非常に大きかったと思います。」

今回、教頭として後進の先生方を育てる上でも大きな役割を果たした高橋先生。この実践を行った玄海町立飯屋小学校は、統廃合により平成21年度をもって廃校となり、当

時の先生方は皆、他の学校へと異動されています。しかし、実践に携わった9名の先生は皆、「やって良かった！」と心をひとつにできたと言います。

「金融教育の経験を他校でも実践し、もつと授業の質を高めるためにも各教科との関連的指導を工夫しながら、これからも続けていってもらえたら嬉しいですね」と話してく

## 小学生からの金融教育への挑戦

— 年間カリキュラムに組み込む実践法 —

佐賀県

だいら

唐津市立大良小学校 高橋幸信教頭